

電報

新報

第百八十四號

十月二十七日

0844

輸

生 醫小急

受付日時 10 25 17 45

軍参謀長

又電第ニ。四

一、京城釜金山開引揚邦人ハ自下登録中ニテ正確ナル
次資料ニテモ其總數約一九萬ト推定ス

中北鮮ヨリ歸來者少至一萬名アリ

二、京城ニ於ケル休暇軍人及同家族ハ約三万五千名
(軍人七千) 二十五日夕刻迄ニ出發セルモノ約一万名
ナリ

二十七日、二十八日ヲ除キ三十日迄毎二列車出發ノ予定

三、仁川地已ノ邦人ハ約三万名ニテ休暇軍人及家族ハ約

四千名ナリ軍人及家族ハ二十七日、二十八日各一列車ニテ
出發ノ予定

1
清算日時 10 26 07 05

第二組

京城

0845

参通
考電
大先
田釜
山
江
川

終

0846

至急 19/25 19/30 25 28/15 (26/28) 茅二條

軍参謀長

東京

法電茅二號 其一、二

茅一條 昭和三年九月二日前禁錮以上、刑ニ處セラルル者

ニテ其刑、執行前ハ執行猶豫中、執行中、執行停

止中、又ハ假執行後、^但其者ハ本令ニテ其刑ヲ減刑ス

其執行ノ逃ル者ハ此限リ非ス

茅二條 死刑ハ此ヲ無期微役トス

茅三條 無期微役ハ此レニ、年ノ有期微役トシ無期

禁錮ハ此ヲ二、年ノ有期禁錮トシ^但昭和三年九月二日

ニ於テ七、才以上ノ者及ビ判事一才未滿者ニ付テハ

0847

此ヲ五年ノ徴役又ハ禁錮トス

茅四條 有期徴役又ハ禁錮ニツイテハ九ノ例ニヨリ

刑期ヲ變更ス

一、刑ノ執行初メ元者ニツイテハ刑期ノ四分ノ一ヲ減ス

二、刑ノ執行ヲ初メ元者ニ付テハ殘刑期ノ三分ノ一ヲ減ス

但シ刑ノ執行ガ刑期ノ三分ノ一ニ至ラザル者ニ付テハ

前號ノ例ニヨル

三、昭和三年九月二日ニ以テ七〇才以上ノ者及ビ判事

十六才未滿ノ者付イテハ前二號例ニヨラス

刑期ノ三分ノ一ヲ減ス、短期徴役トラ定メテ言渡

シタル刑ニツイテハ短期及ビ長期ニ付テ前項ノ例ニヨル

但シ判事一才以上ノ者ニ付テ短期ヲ經過シタルモノ

ニツイテハ長期ニ付テ前項茅二號ノ例ニヨル

至急 10月25日 19時 50分
26日 0時 40分 (30)
第ニ組
東京
軍參謀長

0849

法電第三號其二
者ニテ昭和二年九月二日前シノ刑ノ執行ヲ了リ又ハ執行ノ免除ヲ
得ル者ハ其ノ刑ニ處セラレタル處喪失又ハ停止セラレタル資格ニ付キ
特權ス第四條前ニ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ニテ昭和二年
九月二日前一五年^被隠匿者、現刑又ハ令言ラザル復権
ノ恩赦才其ノ後七年以内ニ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ復権
セズ、附則、本令ハ交付ノ日ヨリ此ヲ施行ス、終

至急

10月25日

1914年

26日

07時50分

(32)

第2組

東京

軍参謀長

法電第五號 其二

同シクハ朝鮮、台湾、南東洋、若クハ南洋群島ニ行ハルル

法令又ハ入法、罪ヲ科スル者ヲ除ク

四、現刑ノセラセラハ現刑令ニテ減刑スル下、負フべき罪ヲカシ

昭和二年九月二日前裁判ノ宣告ヲ受ケ同日以後、恩赦ノセラセ

交付前裁破調確定シテ者ニ付テモ此ノ準ルニテ

五、現刑ノ情状ハ^{上奏}犯罪^{刑罰}行状、刑犯罪後ノ状況等詳細ニ^査觀察コレヲ

六、^{上奏}刑罰^{刑罰}ニシテ前刑イカニテナクモ^{刑罰}刑罰^{刑罰}ニシテ

終

0850

生票小急

受付日時 10.25.23.

軍参謀長

陸普電第四七二號(其一、其二)

一陸普電第四四八(死記)

等一週ノ交換シ得可キ通算日十月十二日附ヲ以テ聯合國

日取高司令部ノ之ヲ台銀券、鮮銀券及滿銀券ニ限リテ

日銀券ニ依ル所定額ノ持歸シハ差支ヘナク事当然ナリ

本件接渉中ナルモ不取扱

又軍属ハ一般人ト同一取扱ヒニ改ムル

ニ朝鮮人ニ支那人、支那人ニ歸還スルニ當リ推シ行可成ナル

金額ハ所ケニカ一〇〇〇元迄トニ超過合ハ歸還日本入

ト同様ノ取扱ヲ事ヲ受ケル事ヲ定ムル

終

又子 第二組

送り書日時 10.26.07.40

東京

0851

至急電報
軍参謀長

十五時十分
17
禮電

一六〇師連電第二三号

一、金羅北道内引揚邦人集中状況左如し

南原 八〇九 全州 七六一三 井邑 二七九 金壇 八五〇

群山 六六四 禮電 四〇〇 計 二〇二五

二、僻地ニ於ル邦人救出ハ状況不穩ナリ所ヨリ逐次自働

化装車ニヨリ実施シラフアリ

三、米軍金羅北道台領軍軍司令官「ヤーン」大佐

二三日 群山ニ進駐ス

0852

至急

25
16
10

25
15
25

(18)

麗水

軍 参 謀 長

麗水要電第四六號

当連絡班一。月一。日現在ノ前渡金残額九三二五八円四三銭
尚当連絡班八。月八日ハング主計大尉ヨリ前渡金
一〇〇〇〇円受領シタルモノナルニ付念ノ爲

麗水連絡班長

0853

普通電報

軍參謀長

受付

十五時十分

京城

又電第一四〇三号

大邱師管區第一五部隊 伊藤大尉以下二〇名

家事整理、為休暇ヲ附與セラシ、軍身部隊

復帰スル如ク命ゼラリ、又電第一四〇三号ノニヨリ

京城ヲ直接内地ニ帰リ還スル如ク處置シラルニ

差支ナキヤ

勤 又電第一四〇三号(十音)

南韓方面ヨリ休暇中ノ部隊ニヨリテハ、以後
旅行、上部隊ヲ在地ニ召集スル、指示
セテ、有ルニ輸送力ノ増進ニ鑑ミ、客貨
降送ニ得ルモノヲ陸軍本部附近ニ積リ有ル
モノハ、為運送セリ、百餘名ニ達スル

一、八、九、十、也、メ、ラ、シ、度

0854

三五名

軍參謀長

引上り打人携行荷物、件決定セザルヤ

24.
10.
00

25.
15.
45

光師連絡組長

光州 第二組

0855

三葉名

軍参謀長

24.
15.
20.
25.
16.
00

釜山 第二組

引上げ打込鉄道沿線收容ト集結状況

二十六日午前中ニ通報アリタシ

大田京城附近ノミニテモ可ナリ

通電先大田京城ヲ集結

釜山連絡部長

0856

生急

受付日時 10.25.15.30

23 第ニ四
洋書日時 10.25.17.50

軍参謀長

大印

当貴軍政廳、發表ニ依ル内地引揚者、郵便貯金
帳ハ之レヲ没収シ受領証ヲ發行スル由ナシト断ル如キ
ハ内地引揚者、携行行金額ト内地ニ於ケル生活
トヲ豫想セバ帝國後ノ生活ハ極メテ困難ナルヲ豫想
セラルルニ鑑ミ引揚者ニ對シ至急應急ノ対策ヲ考スル始
何令ノ處置相成度ヲ申ス

大印の管已連絡班長

0857

生 皇 急

受付日時 10.25.17.00.

軍 參 謀 長

又 電 第 二 三 號

休 暇 軍 人 同 家 族、今 二 日、出 發 狀 況 凡、如 下

第 一 列 車 一 二、。發 軍 人 四 五 九 名、六 歲 以 上、有 賃 者

二 九 五 名、六 歲 以 下 三 四 七 名、合 計 一 二 一 〇 五 名

二 列 車 一 六、三 五、發 軍 人 四 六 三 名、六 歲 以 上、有 賃 者

一 一 九 四 名、六 歲 以 下 三 九 九 名、計 一 〇 五 五 名

終

24

第 二 組

送 付 日 時 10.25.17.55.

京 城

0858

榮 普通

受付日時 11 25 11 50

軍務課長

一六〇 仰連電系二一號

普奉電系四三六號邊

一六〇 仰連電系一六號ヲ参照スル度

25

第一組

洋書日時 10 25 18 00

程呈

勅

刑部省回書

外相軍人入道(件)

終

0859

普通 1944 24 24 (26) 第二組

軍參謀長

裡星

一六〇師運電第二三號

貴參電第四三三號返

一月二日米軍(一ナ)中尉(テノウウ)駐在米軍
政廳局代表)ト部隊代表(ヒラマ)タイト近清南道
ツヨセシク言ウ(辭山對岸)ニ於テ此會談ニヨルモノナリ

今重(四三三)返

知行荷物(一ナ)

終

0860

通

稟急

受付日時 10.25.13.00.

軍参謀長

太白軍参長已司令部ニ轉電ナレ度
当師管無線機故障ニ付ヤ第一五。師團(井邑)
給由連絡セラレ度

27. 第二組

送付日時 10.25.19.30.

光州(程定作過)

光州連絡班長

給

0861

法

至急

十三天

八三五

五組

法務部長

濟州

此若法電第五〇二號

朝法電第四八號

返行刑中、昔ナク

復員開始中ナルモ、先張ノ要アリヤ至急返電

アリ度

此若法務部長

朝法電四八
行刑書類一切携行連絡看差案件

0862

軍令謀長

北石急電第503號

國境參謀外二名 四時濟州着業、勢速絡上

明二六日一三時濟州發、帰還ス

飛行場道自動車御願ス

26.08.25

26.08.29

濟州

第一組

終

0863